150th Anniversary



令和6年度 第3号 2024. 5. 24

#### 教 「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」

自ら学び工夫する子ども

(考える)

元気でがんばる子ども 目

(鍛える)

礼儀正しく思いやりのある子ども(思いやる)

※本たよりの本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。



## いじめゼロ強化月間





#### 道徳教育 について 心の教育の要

学校での「道徳教育」は大きく二つの側面 があります。

一つは、学校全体で日常的な生活場面を 含む, 学校生活全体を通して取り組む「道徳 教育」です。

もう一つは、授業で行う「特別の教科 道 徳」 (以下「道徳科」) です。これら二つの 側面について、栃木県では「教え育てる道徳 教育」としており、右図のように学校生活全 体で行う道徳教育を「教える」, 道徳科の授 業を中心として行う道徳教育を「育てる」と 位置付けています。

いけないことをダメという「教える」指導 はもちろん大切です。しかしそれだけでは. やっていけないことは覚えるかもしれませ

「友人に悪口を言っている児童生徒に対する指導」を例に見てみると

関連

## 教えること

学校生活の中で指導す べき場面を見逃さず、 その場で指導します。

#### 悪口をやめさせる指導

- 〇 「悪口を言うことはや めなさい。」などと、まずその行為について指導
- 「悪口を言うことは、よ いことなのですか?」 (善悪の判断)
- 「言われた人は、どんな 気持ちになりますか?」 (思いやり)

## 育てること

道徳科の授業を中心と して、心情面に働きかけ ます。

### 内面的資質の育成

- 「悪口を言わない」と 思うことにつながる道徳 的価値について、授業を 通して考えさせ、計画的 に内面的な資質を育成し ます。
  - 善悪の判断
  - 思いやり
  - 友情
  - 寛容

「栃木県道徳教育ハンドブック」(令和2年県教委)より

んが、指導されているので子供は受け身になってしまいます。そのため、心情面に働きかけ、子供 自身で主体的にしっかり考えさせる,「育てる」指導も大切になってきます。

子供たちは、「いじめをしてはいけない」など、やってはいけないことは頭では分かっています。 しかし、時として人間は、いけないと分かっていてもやってしまう弱い心も持ち合わせています。 道徳科の授業は、教科書のお話などを使って、様々な出来事を「自分ごと」として捉え、同じよう な場面に出会ったときにどう考えればよいのか、どうすれば正しい判断ができるようになるのか、 意見を出し合って考えを広げ、自分自身で深く考える時間となります。

今後も学校では、県や市の方針に基づき、本校の指針の一つでもある「思いやる 礼儀正しく思い やりのある子ども」の育成に向けて道徳科の授業も大切にしながら、前号で紹介した取組を含めて 実践していきます。 (文責:校長)



O 5/22(水) いじめ防止の取組の一つ

# ★ 学級自慢集会 が開かれました!

「自分たちはこんなクラスになりたい」を各学級で話し 合って決めて発表しました。「助け合う」、「仲良く」、 「やさしい」,「親切」など仲間を大切にしようとする思い や、「挑戦」、「笑顔」、「粘り強く」など前向きに取り組ん でいこうとする思いが伝わってきました。